

宮医発第 745 号
令和 7 年 7 月 24 日

宮城県産婦人科医会長 殿

公益社団法人 宮 城 県 医 師 会
会 長 佐 藤 和 宏



第 56 回全国学校保健・学校医大会の分科会について

本会活動の推進につきましては、日頃より格段のご指導ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記大会につきましては、令和 7 年 7 月 3 日付にて開催案内をご通知申し上げておりましたが、この度、神奈川県医師会長より別紙のとおり分科会発表一覧について追加で案内がありましたので、改めてご通知申し上げます。

つきましては、本件について貴会会員へご周知いただきますよう改めてお願い致します。

また、参加希望者がいらっしゃいましたら、第 56 回全国学校保健・学校医大会ホームページより 9 月 1 日(月)までに直接お申込みいただきますよう併せてお願い申し上げます。

記

参加申込み締切
大会ホームページ URL

令和 7 年 9 月 1 日 (月) 17 : 00
<https://school-health56.jp/>

担当：総務部総務課 小野寺 沙織
Tel 022-227-1591 Fax 022-266-1480





7 神医第 778 号-1
令和 7 年 7 月 14 日

各都道府県医師会長 様

第 56 回全国学校保健・学校医大会担当
公益社団法人 神奈川県医師会
会 長 鈴 木 紳一郎
(公印省略)

第 56 回全国学校保健・学校医大会について (ご案内)

猛暑の候 貴職におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、標記大会の開催要項及び分科会発表一覧についてご案内いたします。
つきましては、貴会においてご了知のうえ、貴会会員等へのご周知に特段のご高配
を賜りますようお願い申し上げます。

記

第 56 回全国学校保健・学校医大会

日 時 令和 7 年 11 月 22 日 (土) 午前 10 時～
会 場 パシフィコ横浜ノース
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1
(TEL : 045-221-2155)

開催内容 開催要項案のとおり

事前参加登録

第 56 回全国学校保健・学校医大会ホームページから直接お申込みください。

(1) 事前参加登録

受付期間 9 月 1 日 (月) 17:00 まで

申込方法 <https://school-health56.jp/index.html>
ホームページトップ > メニュー「事前参加登録」

大会事務局	運営事務局
公益社団法人 神奈川県医師会 健康医療課 松本、福本、長谷川 〒231-0037 神奈川県横浜市中区富士見町 3-1 TEL : 045-241-7000 FAX : 045-241-1461 MAIL : school56@kanagawa.med.or.jp	東武トップツアーズ株式会社 横浜支店 〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通 18 7F TEL : 045-307-4891 FAX : 045-307-4892 MAIL : school_health56@tobutoptours.co.jp

令和7年度 第56回全国学校保健・学校医大会
開催要項(案)

テーマ 『子どもたちの健康を守る～生まれてから成人まで～』

日 時 令和7年11月22日(土)午前10時～ ※後日、オンデマンド配信予定

会 場 パシフィコ横浜ノース(横浜市西区みなとみらい TEL 045-221-2155)

懇親会会場 横浜ベイホテル東急(横浜市西区みなとみらい TEL 045-682-2222)

主 催 日本医師会

担 当 神奈川県医師会

参加者 日本医師会会員及び学校保健に関係のある専門職の者

9:00	【受付】 会場: パシフィコ横浜ノース	4階
10:00	【分科会】 第1分科会「からだ・こころ(1)」 第2分科会「からだ・こころ(2)」 第3分科会「からだ・こころ(3)」 第4分科会「耳鼻咽喉科」 第5分科会「眼科」	4階 G404 4階 G403 4階 G402 4階 G401 4階 G412・413
12:00	【昼食】 【都道府県医師会連絡会議】	(各分科会会場等) 1階 G7
13:00	【開会式・表彰式】 【次期担当医師会長挨拶】	1階 G5・6
14:00 ①30分 14:30 ②30分 15:00 ③20分 15:20 ④20分 15:40 ⑤20分 16:00 ⑥20分	■講演 座長 神奈川県医師会副会長 ①こども家庭庁の創設について 参議院議員 ②学校保健、学校医について日医の考え方 日本医師会常任理事 ③乳幼児健診と子どもたちの健康について 日本医科大学武蔵小杉病院小児科 教授 ④眼科領域における子どもたちの健康について 神奈川県眼科医会会長 ⑤児童精神科領域における子どもたちの健康について 神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科部長 ⑥教育委員会における子どもたちの健康について 神奈川県教育委員会 ■特別講演 座長 神奈川県医師会会長 演題 「宇宙はたくさんあるのか!？」 講師 カリフォルニア大学バークレー校教授 ラインウェバー理論物理学研究所所長 ローレンス・バークレー国立研究所上席研究員 物理学者(素粒子物理学論、量子重力理論、宇宙論)	1階 G5・6 自見 はなこ 様 渡辺 弘 司 様 田嶋 華 子 様 宇津見 義 一 様 庄 紀 子 様 野村 泰 紀 様
17:40	【閉会】	
18:30 20:30	【懇親会】 会場 横浜ベイホテル東急 【アトラクション】 バンド演奏等	B2階 クイーンズ グランド ボールルーム

令和7年度 第56回全国学校保健・学校医大会 in 神奈川

分科会演題一覧

※演題名・発表者・発表順は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

第1分科会「からだ・こころ（1）」

発表順	演題名	研究発表者名	
1	学校健診における着衣の問題	京都府	井本 雅美
2	「児童生徒のプライバシーや心情に配慮した学校健診」 ～令和6年度、川崎市の対応について～	神奈川県	佐々木 明德
3	学校健診方法の統一について(横浜Ver)	神奈川県	水谷 隆史
4	大阪府内における「5歳児健診」実施現状と今後の課題	大阪府	森口 久子
5	横浜市の公立学校における成長曲線の活用について	神奈川県	大川 拓也
6	福岡市医師会小児生活習慣病検診10年間の検討 ～コロナ禍後にやるべきこと～	福岡県	青木 真智子
7	緊急心電図ホットラインと再判読による学校心臓検診の精度管理	神奈川県	岩本 眞理
8	鳥取県西部地区における人員配置のやりくりに関して	鳥取県	阿部 博章

第2分科会「からだ・こころ（2）」

発表順	演題名	研究発表者名	
1	学校医による子どもの心の問題への対応状況と意識調査	神奈川県	橋本 卓史
2	コロナ流行開始5年後（2024年）の中学生のメンタルヘルス ー女子改善・男子増悪ー	三重県	梅本 正和
3	子どもたちが自分を大切にするために	東京都	川上 一恵
4	市立小中学校での1人1台端末を用いたメンタルヘルスケアシステム構築の取り組み	神奈川県	石井 美緒
5	18歳未満の自殺未遂者に対する取り組み	神奈川県	松成 夏美
6	不登校児の健康診断受診の現状と対策	東京都	弘瀬 知江子
7	教育委員会・学校医と地域中核病院が連携した登校困難児童生徒への対応	東京都	小保内 俊雅
8	東村山市での学校教育を活用した中学生徒に対するHPVワクチン情報提供の取り組み	東京都	村田 陽

第3分科会「からだ・こころ（3）」

発表順	演 題 名	研究発表者名	
1	子どもたちのせばねを守る	徳島県	酒井 紀典
2	岐阜県養老町における運動器検診の工夫と「子どもロコモ予防」活動	岐阜県	石井 光一
3	学校運動器検診「横浜市モデル」の挑戦と展望	神奈川県	土原 豊一
4	学校生活管理指導表からみた広島市の食物アレルギーの変遷	広島県	村上 洋子
5	1コマ（45分枠）で開催する教職員向けアレルギー対応研修の設計・実施	神奈川県	奥 典宏
6	横浜市学校腎臓病検診の工夫と実績	神奈川県	藤原 芳人
7	横浜市児童・生徒学校検尿（糖尿病検診）の43年間の成績	神奈川県	志賀 健太郎
8	検尿判定委員会から緊急連絡を行った事例5年間の検討	岐阜県	松隈 英治

第4分科会「耳鼻咽喉科」

発表順	演 題 名	研究発表者名	
1	健康教育に関して保護者向けアンケート結果について	福岡県	矢武 克之
2	徳島県における耳鼻咽喉科学校医の配置状況	徳島県	島田 亜紀
3	札幌市立高等学校の耳鼻咽喉科検診の現状報告	北海道	高木 摂夫
4	「耳鼻咽喉科健康診断マニュアル」2025年改訂版について	神奈川県	朝比奈 紀彦
5	大阪府下5大学病院の耳鼻咽喉科医師学校健診参加状況について	大阪府	坂 哲郎
6	花粉症重症化ゼロ作戦 ～学校医の役割	東京都	大島 清史
7	「睡眠障害と学校健診について」 ー学校健診で睡眠時無呼吸を発見するためにー	神奈川県	吉川 琢磨
8	学童期の聴力調査について～保険調査票から～	東京都	市川 菊乃
9	岡山県聴覚障害児支援中核機能強化事業の3年間の成果と課題	岡山県	片岡 祐子
10	「コミュニケーション障がい」に対する学校耳鼻科医の関わり方について	秋田県	阿部 隆
11	静岡県における「難聴児のインクルーシブ教育」に向けた取り組み	静岡県	植田 宏
12	神奈川県西地区における難聴児の医療・教育・福祉の現状と課題	神奈川県	寺崎 雅子

第5分科会「眼 科」

発表順	演 題 名	研究発表者名	
1	近視は6歳をすぎた年長児で急増している	東京都	野末 富男
2	小学校における近視とコンタクトレンズに関する啓発授業	大阪府	宮本 裕子
3	アフターワクチン時代の細菌性結膜炎の原因菌の検討（小児）	神奈川県	坂本 則敏
4	部活動従事児童に対する屈折矯正器具の選択指針	愛知県	戸塚 伸吉
5	学校健診における屈折検査導入による早期近視発見の有効性の検討	東京都	野末 富男
6	神奈川県眼科医会主催「まもろう子どもの目」イベント報告	神奈川県	飯野 直樹
7	学校における健康教育および啓発活動の推進 ：増加する子どもたちの近視とその対応について	愛知県	近藤 永子
8	眼科医不在地域における学校保健支援の試み ー 医療DXを活用した新たな実践モデル ー	鹿児島県	宮本 純孝
9	人生100年を視野に入れ、令和世代に“刺さる”保健指導の工夫	神奈川県	鈴木 高遠
10	江戸川区で実施した10年間の色覚検査の結果と問題点	東京都	田中 寧
11	予期せぬ障害を生じる眼外傷の多様性 ～現病歴からは想定されなかった重症眼外傷の3例～	神奈川県	金井 光
12	学校保健から見た日本の眼鏡事情の問題	岩手県	鈴木 武敏